# 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

（省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋）

学校名：学校法人三幸学園 札幌ブライダル＆ホテル観光専門学校

学科名：ブライダルヘアメイク＆ドレス科

| 授業科目名 | 単位数 |
|---|---|
| ブライダルビジネスマナー | 2 |
| パーソナルカラー | 2 |
| ドレスデザインA | 2 |
| 合計 | 6 |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ブライダル知識ＩA | | |
| 必修選択 | 必修 | （学則表記） | ブライダル知識ＩA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | ブライダルコーディネーターテキストスタンダード | | 出版社 | 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。 |
| 到達目標 | ブライダルコーディネート技能検定 3 級合格を目指す。<br>ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。 |
| 評価基準 | テスト：60％ 小テスト：20％ 授業態度：20％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | ブライダルコーディネート技能検定 3 級 |
| 関連科目 | ブライダル知識Ⅱ<br>パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 |
| 担当教員 | 大川 綺萌　　実務経験　○ |
| 実務内容 | ウェディングプランナーとして勤務 |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | オリエンテーション | ブライダルコーディネート技能検定について理解する<br>ブライダルコーディネーターの定義を理解する |
| 2 | 結婚の定義 | 結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する |
| 3 | 結婚の定義 | 結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る |
| 4 | 日本の結婚式<br>歴史と文化 | 日本の結婚の歴史について学ぶ |
| 5 | 日本の結婚式<br>歴史と文化 | 日本の結婚の歴史について学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 日本の結婚式<br>歴史と文化 | 日本の結婚の歴史について学ぶ<br>宗教と結婚式について知る |
| 7 | 日本の結婚式<br>歴史と文化 | 結婚に関する風習・いわれについて学ぶ |
| 8 | 欧米の結婚式<br>歴史と文化 | 欧米の結婚式の歴史について知る |
| 9 | 欧米の結婚式<br>歴史と文化 | 欧米の結婚式の歴史について知る |
| 10 | 欧米の結婚式<br>歴史と文化 | 欧米の結婚式について知る |
| 11 | 欧米の結婚式<br>歴史と文化 | 欧米の結婚式について知る |
| 12 | ブライダルビジネス<br>ブライダル市場 | ブライダル市場規模、市場規模の推移について把握する |
| 13 | ブライダル業種 | ブライダル関連業種について理解する |
| 14 | テスト | 前期内容のテストを実施する |
| 15 | 総合 | テストの振り返りとまとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ブライダル知識ＩＢ | | |
| 必修選択 | 必修 | （学則表記） | ブライダル知識ＩＢ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | ブライダルコーディネーターテキストスタンダード | | 出版社 | 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | 現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。 | | |
| 到達目標 | ブライダルコーディネート技能検定 3 級合格を目指す。<br>ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。 | | |
| 評価基準 | テスト：60％ 小テスト：20％ 授業態度：20％ | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 | | |
| 関連資格 | ブライダルコーディネート技能検定 3 級 | | |
| 関連科目 | ブライダル知識Ⅱ<br>パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | |
| 担当教員 | 大川 綺萌 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ウェディングプランナーとして勤務 | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 前期ＩＡ振り返り<br>ブライダル関連業種 | 前期で学んだＩＡの内容の振り返り<br>ブライダル関連業種について理解する |
| 2 | エリア特性<br>ブライダル業界の 1 年 | 結婚における地域特有の風習について学ぶ<br>ブライダル業界の 1 年の流れと集客システムについて理解する |
| 3 | 見合いと婚約 | 見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ |
| 4 | 見合いと婚約 | 見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ |
| 5 | 結納・婚約式 | 結納について学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 結納・婚約式 | 結納について学ぶ<br>婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせについて学ぶ |
| 7 | ブライダル準備<br>キリスト教式 | 結婚までのスケジュールを理解する<br>キリスト教式（カトリックとプロテスタント）について学ぶ |
| 8 | 神前式 | 神前式の歴史と現状について知る<br>神前式式次第① |
| 9 | 神前式 | 神前式式次第② |
| 10 | 仏前式<br>挙式スタイル小テスト | 仏前式の歴史と現状、仏前式式次第について知る<br>キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについての小テスト |
| 11 | 人前式・シビルマリッジ | 人前式、シビルマリッジの式次第について学ぶ |
| 12 | 披露宴 | 披露宴のスタイル、披露宴の時間帯について学ぶ |
| 13 | 披露宴の演出プラン | 披露宴の進行について理解する |
| 14 | 後期テスト | 後期内容のテスト実施 |
| 15 | 総合授業 | テストの振り返りとまとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 未来デザインプログラム A | | |
| 必修選択 | 必修 | （学則表記） | 未来デザインプログラム A | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | 7 つの習慣 J テキスト<br>夢のスケッチブック（WEB アプリ） | | 出版社 | FCE エデュケーション | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 7 つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分を身につける。 |
| 到達目標 | ・7 つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。<br>・7 つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 |
| 評価基準 | テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40% |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | なし |
| 関連科目 | 未来デザインプログラム B |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 多田 直人　　実務経験 |
| 実務内容 | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 専門学校へようこそ！ | 夢のスケッチブックアプリの使い方を学ぶ<br>SANKO ワークコンピテンスの理解を深める |
| 2 | 7 つの習慣とは？ | 7 つの習慣とは何か学ぶ<br>夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ |
| 3 | 自分制限パラダイムを解除しよう！ | 自分制限パラダイムの意味について学ぶ |
| 4 | 自信貯金箱 | 自信貯金箱の概念を理解する<br>自分自身との約束を守る大切さを学ぶ |
| 5 | 刺激と反応 | 「刺激と反応」の考え方を理解する<br>主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 言霊<br>～ことだま～ | 言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ |
| 7 | 影響の輪 | 集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ |
| 8 | 選んだ道と選ばなかった道 | 自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ |
| 9 | 割れた窓の理論 | 規則を守る大切さ、重要性を理解する |
| 10 | 人生のビジョン | 入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする |
| 11 | 大切なこととは？ | なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ |
| 12 | 一番大切なことを優先する | スケジュールの立て方を学ぶ<br>自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ |
| 13 | 時間管理のマトリクス | 第 2 領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ |
| 14 | 私的成功の振り返り | 前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う |
| 15 | リーダーシップを発揮する | リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 未来デザインプログラム B | | |
| 必修選択 | 必修 | （学則表記） | 未来デザインプログラム B | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | 7 つの習慣 J テキスト<br>夢のスケッチブック（WEB アプリ） | | 出版社 | FCE エデュケーション | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 7 つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分を身につける。 |
| 到達目標 | ・7 つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。<br>・7 つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 |
| 評価基準 | テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40% |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | なし |
| 関連科目 | 未来デザインプログラム A |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 多田 直人　　実務経験 |
| 実務内容 | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 信頼貯金箱 | 信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ |
| 2 | Win-Win を考える | お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ |
| 3 | 豊かさマインド | 人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ |
| 4 | 理解してから理解される | 人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを学ぶ |
| 5 | 相乗効果を発揮する | 人と違いがあることに価値があることを学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 自分を磨く | 自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える |
| 7 | 未来は大きく変えられる | 人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ |
| 8 | 人生ビジョンを見直そう | 将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ<br>現実的なライフプランの大切さを理解する |
| 9 | 未来マップを作ろう① | 未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める |
| 10 | 未来マップを作ろう② | 未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする |
| 11 | 感謝の心 | 人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える |
| 12 | 7 つの習慣授業の復習 | 7 つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する |
| 13 | 未来デザインプログラムの振り返り | ７つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する |
| 14 | 2 年生に向けて① | 1 年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える |
| 15 | 2 年生に向けて② | 1 年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ブライダルビジネスマナー | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ブライダルビジネスマナー | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | サービス接遇検定３級公式テキスト<br>サービス接遇検定実問題集３級 | | 出版社 | 早稲田教育出版 | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。 |
| 到達目標 | サービス接遇検定３級に合格する。<br>基本的なビジネス文書を作成することができる。 |
| 評価基準 | 小テスト３０％・提出物３０％・検定合格４０％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 |
| 関連資格 | サービス接遇検定３級 |
| 関連科目 | なし |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 吉江 妙子 / 実務経験 ○ |
| 実務内容 | 団体及び個人、美容関係者に対してのセミナー講師企業コンサルティング・サービス接遇検定検定員など |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | ビジネスマナーとは | サービススタッフに必要とされる要件について<br>身だしなみについて |
| 2 | サービススタッフの<br>資質・専門・一般知識 | サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ |
| 3 | 対人技能 | 対人技能、エレベーターでの案内、席次について学ぶ |
| 4 | 敬語 | 敬語について学ぶ |
| 5 | 実務技能 | 実務的な技能を学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 慶事・弔事のマナー | 社交業務について学ぶ |
| 7 | 接遇者としての知識 | 接遇者について学ぶ |
| 8 | 検定対策 | 過去問題より検定対策 |
| 9 | 社外文書① | 社外文書の書き方を学ぶ |
| 10 | 社外文書② | 社外文書の書き方を学ぶ |
| 11 | 電話対応 | 電話対応の方法について学ぶ |
| 12 | 名刺交換・お茶出し | 名刺交換の方法、お茶の出し方を学ぶ |
| 13 | 面接のマナー | 面接試験のマナーについて学ぶ |
| 14 | 受付から誘導まで | 受付から誘導までの方法を学ぶ |
| 15 | 総合学習 | 総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | パーソナルカラー | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | パーソナルカラー | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト<br>パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック | | 出版社 | クリエスクール | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける |
| 到達目標 | パーソナルカラーコーディネート検定に合格する<br>様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる |
| 評価基準 | 小テスト４０％・提出物３０％・授業態度３０％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 |
| 関連資格 | パーソナルカラーコーディネート検定 |
| 関連科目 | なし |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 津田 美砂子　　実務経験　○ |
| 実務内容 | カラー診断や個人向けのセミナー講師 |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | パーソナルカラーについて | パーソナルカラーの重要性を知る |
| 2 | 色の性質① | ・色の持つ性質や特徴を理解する<br>・有彩色と無彩色を理解する・色の三属性を理解する |
| 3 | 色のトーン①<br>色の心理的効果 | ・トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ<br>・色の心理的効果を理解する |
| 4 | 配色① | ・配色の基礎を学び、配色構成を理解する<br>・色相環・トーンを理解した上で配色を考える |
| 5 | 配色② | ・イメージ配色の重要性を理解する<br>・和装の配色方法を学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 光の三要素<br>眼のしくみ | ・色がなぜ見えるのかを学ぶ<br>・三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ |
| 7 | 対比・補色対比<br>混色 | ・対比・補色対比について学ぶ<br>・加法混色と減法混色を学ぶ |
| 8 | 色のトーン② | トーンの 4 つのグループの特徴を理解する |
| 9 | 色のトーン③ | ・メイク・ネイル・ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする<br>・ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする |
| 10 | 検定対策① | 検定対策 |
| 11 | 検定対策② | 検定対策 |
| 12 | 検定対策③ | 検定対策 |
| 13 | パーソナルカラー判定① | 自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする |
| 14 | パーソナルカラー判定② | 各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する |
| 15 | 総合学習 | 総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | キャリアデザインＩA | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | キャリアデザインＩA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | キャリアサポート BOOK | | 出版社 | なし | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。<br>面接や内定後までの流れを知る。 |
| 到達目標 | 就職活動の流れを理解する。<br>魅力的な履歴書の書き方を習得する。<br>面接方法が実践できる。 |
| 評価基準 | 授業態度３０％・提出物４０％・面接３０％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 |
| 関連資格 | なし |
| 関連科目 | キャリアデザインＩB |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 高橋 優衣/多田 直人　　実務経験 |
| 実務内容 | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 就職活動について | ２年間の就職活動の流れを把握する |
| 2 | ブライダル業界の仕事について | ブライダル業界の職業・職種について調べ把握する |
| 3 | ブライダル関連企業について | ブライダル企業について調べ把握する |
| 4 | 自己分析① | 自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う |
| 5 | 自己分析② | 自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 自己ＰＲ① | 自己ＰＲの書き方を学び、作成する |
| 7 | 自己ＰＲ② | 自己ＰＲの書き方を学び、作成する |
| 8 | 履歴書について① | 履歴書を作成する |
| 9 | 履歴書について② | 履歴書を作成する |
| 10 | 身だしなみについて① | 就職活動における身だしなみを理解する |
| 11 | 身だしなみについて② | 就職活動における身だしなみを理解する |
| 12 | 面接対策 | 面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ |
| 13 | 面接練習① | 模擬面接を実施する |
| 14 | 面接練習② | 模擬面接を実施する |
| 15 | 総合授業 | 総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | キャリアデザインＩB | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | キャリアデザインＩB | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | キャリアサポート BOOK | | 出版社 | なし | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。<br>面接や内定後までの流れを知る。 |
| 到達目標 | 就職活動の流れを理解する。<br>魅力的な応募書類の書き方を習得する。<br>面接方法が実践できる。 |
| 評価基準 | 授業態度３０％・提出物４０％・面接３０％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | なし |
| 関連科目 | キャリアデザインＩA |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 高橋 優衣/多田 直人 |
| 実務経験 | |
| 実務内容 | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 就職活動のスケジュール<br>就職希望調査 | ・今後の就職活動の流れを把握する<br>・アンケートの実施 |
| 2 | 就職先について | 就職先業種や種類について理解する<br>就職情報サイトの活用方法を知る |
| 3 | 就職活動のルールについて | 就職活動のルールや各種届、証明書発行について把握する |
| 4 | 就職活動の履歴書について | 就職活動における履歴書について学ぶ |
| 5 | 自己 PR① | 自己 PR の書き方について学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 自己 PR② | 自己 PR の書き方について学ぶ |
| 7 | 志望動機① | 志望動機の書き方について学ぶ |
| 8 | 志望動機① | 志望動機の書き方について学ぶ |
| 9 | エントリーシートの書き方① | 自己 PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ |
| 10 | エントリーシートの書き方② | 自己 PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ |
| 11 | 企業説明会について | 企業説明会の申し込み方法・マナーを学ぶ |
| 12 | ＳＰＩ・一般常識対策 | ＳＰＩ・一般常識の問題を解き、実力をつける |
| 13 | 面接指導① | 面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ |
| 14 | 面接指導② | 面接練習 |
| 15 | 総合授業 | 総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | マーケティング | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | マーケティング | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | ゼクシィ<br>ブライダルコーディネートテキストスタンダード | | 出版社 | リクルート<br>公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | 新しい商品を生み出すためにマーケティングの必要性、仕組みを理解する | | |
| 到達目標 | ターゲットの設定、商品の選定、告知内容を理解し新しい商品を生み出すことが出来る | | |
| 評価基準 | プレゼンテーション 50%　テスト 40%　授業態度 10% | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 | | |
| 関連資格 | | | |
| 関連科目 | ブライダルプロジェクトＩB | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 高橋　優衣 | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | マーケティングの必要性 | マーケティングがなぜ必要なのかを理解する |
| 2 | ブライダルビジネスについて | ブライダル市場は具体的にどういった内容を指すのか理解する<br>これまでのブライダル市場の推移について知る |
| 3 | ターゲットの選定 | コンペティション内容の決定に向けてターゲットを絞る |
| 4 | 商品の決定 | ターゲットに向けて魅力的な商品とは何か考える |
| 5 | 集客システムについて | ブライダル業界の集客システムはどのようになっているのかを理解する |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 商品の告知方法 | 商品の告知方法にはどのようなものがあるのか知る |
| 7 | コンペティション準備 | ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める |
| 8 | コンペティション準備 | ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める |
| 9 | コンペティション準備 | ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める |
| 10 | コンペティション準備 | ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める。 |
| 11 | コンペティション準備 | ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める |
| 12 | 企業コラボ① | ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく。（オンライン可） |
| 13 | 企業コラボ② | ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく。（オンライン可） |
| 14 | テスト | 前期テスト |
| 15 | 総まとめ | 前期総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ドレスデザイン A | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ドレスデザイン A | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | The Business of Wedding Attire & Styling | | 出版社 | 全米ブライダルコンサルタント協会<br>（ABC 協会）日本オフィス | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | 衣装の知識を学び、検定を取得する | | |
| 到達目標 | 後期に受験する、全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す | | |
| 評価基準 | テスト７０％ 授業態度３０％ | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 | | |
| 関連資格 | 全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定 | | |
| 関連科目 | アテンド実践 A、ドレスデザインＢ | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 添田 由紀 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ドレスコーディネーター、オーダードレスサロン経営（デザイン、縫製、販売、レンタル） | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | ドレスの構造とデザイン | 歴史に見るウェデングドレスの移り変わりを学ぶ |
| 2 | ウェデングドレスの構造<br>ドレスに使用する主な素材 | ウェデングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ |
| 3 | ドレス各部のデザイン | シルエット別のデザインについて学ぶ<br>ネック別ラインのデザインについて学ぶ |
| 4 | ドレス各部のデザイン | ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | ドレスフィッティング実習 | 前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する |
| 6 | ドレスフィッティング実習 | ドレスフィッティングを実践する |
| 7 | ウェデングドレスに合わせる小物 | ウェデングドレスに合わせる小物について学ぶ<br>ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ |
| 8 | ウェデングドレスに合わせる小物 | アクセサリー、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ |
| 9 | ドレスのサイズ展開と採寸・補正 | 日本、欧米のサイズ展開を学ぶ |
| 10 | ドレスのサイズ展開と採寸・補正 | 採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ |
| 11 | 男性の洋装 | 男性の洋装について学ぶ |
| 12 | 男性の洋装 | 男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ<br>フィッティングも実施する |
| 13 | ヘアースタイルによる<br>スタイリング効果 小テスト | ドレスシルエットとヘアスタイルのバランスを学ぶ |
| 14 | 前期テスト | 前期筆記テスト |
| 15 | 総合学習 | 総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ドレスデザイン B | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ドレスデザイン B | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | The Business of Wedding Attire & Styling | | 出版社 | 全米ブライダルコンサルタント協会<br>（ABC 協会）日本オフィス | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | 衣装の知識を学び、検定を取得する | | |
| 到達目標 | 全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す | | |
| 評価基準 | テスト７０％ 授業態度３０％ | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 | | |
| 関連資格 | 全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定 | | |
| 関連科目 | ドレスデザインＡ、ブライダルプランナー検定Ｉ（ＷＰ科ハウスウェディングコース） | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 添田 由紀 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ドレスコーディネーター、オーダードレスサロン経営（デザイン、縫製、販売、レンタル） | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 体型によるスタイリング効果 | 体型別のスタイリング方法を学ぶ |
| 2 | 体型によるスタイリング効果 | 体型別のスタイリング方法を学ぶ |
| 3 | フィッティング実習 | ドレス・タキシードのフィッティングを実践する |
| 4 | ブライダルパーティー<br>衣装店のビジネスと市場 | ブライダルパーティーについて知る<br>衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る |
| 5 | 和装衣装 | 新婦和装衣装について学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 和装衣装 | 新婦和装衣装について学ぶ |
| 7 | 和装衣装<br>列席者衣裳 | 新郎和装、列席者の衣装について説明する |
| 8 | 衣装店のビジネスと市場について | 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る |
| 9 | 衣装店のビジネスと市場について | 衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る |
| 10 | 検定前対策 過去問題より | ドレススタイリスト検定対策問題 |
| 11 | 検定前対策 過去問題より | ドレススタイリスト検定対策問題 |
| 12 | 検定前対策 過去問題より | ドレススタイリスト検定対策問題 |
| 13 | 検定前対策 過去問題より | ドレススタイリスト検定対策問題 |
| 14 | 後期テスト | 後期テスト |
| 15 | 総合学習 | 総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | インターンシップ対策 | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | インターンシップ対策 | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | キャリアサポート BOOK | | 出版社 | 三幸学園 | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | インターンシップを行なう上での基礎知識を身に付ける |
| 到達目標 | インターンシップとはどんなものかの理解が深まっている<br>インターンシップを始めるための準備が整っている<br>現場に出た時に、企業様に迷惑をかけず、自分も困らない基礎スキルが身に付いている |
| 評価基準 | 提出物 30%、授業態度 40%、レポート 30% |
| 認定条件 | 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | なし |
| 関連科目 | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 高橋 優衣/多田 直人　　実務経験 |
| 実務内容 | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 結婚式の理解を深める | 結婚式の仕事内容（特にインターンシップでよくある職種）や種類を知る |
| 2 | インターンシップ概要説明① | 規定と実施方法（インターンシップ手帳を使った指導） |
| 3 | インターンシップ概要説明② | ルール、心構え、身だしなみ（インターンシップ手帳を使った指導） |
| 4 | 企業リサーチの仕方 | ブライダル企業を調べてみる |
| 5 | 企業説明会動画 | 企業の説明会動画を見て企業の事を知る |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 先輩動画 | インターンシップで頑張っている先輩の動画を見てイメージを膨らませる |
| 7 | 身だしなみ | 髪型やメイク、スーツの着こなしなどの実践 |
| 8 | 履歴書の書き方① | 志望動機と自己 PR の書き方 |
| 9 | 履歴書の書き方② | 履歴書の下書き |
| 10 | 履歴書の書き方③ | 履歴書の清書書き |
| 11 | 電話やメールの仕方 | 企業様と失礼のないやりとりができるようになる |
| 12 | 面接練習① | 対面面接のポイントを知る |
| 13 | 面接練習② | オンライン面接のポイントを知る |
| 14 | 接客対応について | ビジネスマナーや接客についての理解を深める<br>サービスの座学や実践を行なう |
| 15 | 総合学習 | インターンシップに必要な対人力を磨く<br>インターンシップ手帳の書き方や提出方法を理解する |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | アテンド実践 A | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | アテンド実践 A | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード | | 出版社 | BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | 結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する | | |
| 到達目標 | 授業を通して、衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する | | |
| 評価基準 | テスト(小テスト含む）５０％ 実技３０％ 授業態度２０％ | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 | | |
| 関連資格 | 無 | | |
| 関連科目 | ドレスデザインA・ブライダルプロジェクトＩA | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 佐久間 一栄 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ブライダルヘアメイク、ブライダルドレス＆アクセサリーデザイナー兼プロデューサー、バイヤー、ブライダル業務全般（スタイリング） | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 自己紹介・導入結婚式について<br>アテンド（介添）について | 結婚式の種類・アテンド（介添）について知る |
| 2 | 当日のアテンド（介添）<br>業務について | 新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ |
| 3 | アテンド（介添）に<br>求められる要素 | アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える |
| 4 | アテンド（介添）について<br>（説明） | 挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方<br>新郎新婦・アテンダーの立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方・誘導の仕方） |
| 5 | アテンド（介添）について<br>（説明） | 和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | アテンド（介添）について<br>（実践） | 新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う |
| 7 | 挙式のアテンド①<br>（実践） | 挙式の流れ通りにロールプレイングを行う |
| 8 | 挙式のアテンド②<br>（実践） | 挙式の流れ通りにロールプレイングを行う |
| 9 | 挙式のアテンド③<br>（実践・小テスト） | 挙式アテンドの小テスト |
| 10 | 挙式のアテンド④<br>（模擬挙式の練習） | ブライダルプロジェクトＩＡと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う |
| 11 | 挙式のアテンド⑤<br>（模擬挙式の練習） | ブライダルプロジェクトＩＡと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う |
| 12 | 挙式のアテンド⑥<br>（模擬挙式の練習） | ブライダルプロジェクトＩＡと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う |
| 13 | 配慮が必要なお客様の対応 | 配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える |
| 14 | 前期試験 | ここまで学んできた内容をアウトプットする |
| 15 | 総合学習 | 総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | フラワーアレンジ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | フラワーアレンジ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門 | | 出版社 | 講談社 | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を習得する |
| 到達目標 | ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する。<br>ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルが作成できる。 |
| 評価基準 | テスト３０％・授業態度３０％・検定合格４０％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 |
| 関連資格 | ブライダルフラワーアレンジメント |
| 関連科目 | なし |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 伊東 みゆき　　実務経験　○ |
| 実務内容 | フラワーコーディネーターとして勤務。フラワーイベント企画、参加ウェディングショーブーケ協賛。 |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | ・フラワーデザインについて<br>・リボン作成 | ・フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ<br>・リボンの作り方を学び、実践する |
| 2 | コサージュ・ブートニア | ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う |
| 3 | 花束・ラッピング | ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う |
| 4 | ゲストテーブル①（ドーム型） | ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う |
| 5 | ラウンドブーケ① | ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う |
| 6 | ゲストテーブル②（ホリゾンタル型） | テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、ホリゾンタル型アレンジメント作成を行う |

| | | |
|---|---|---|
| 7 | メインテーブル | ホリゾンタル型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する |
| 8 | いろいろなアレンジ | ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する |
| 9 | キャスケードブーケ | ラウンドブーケの作り方を応用し、キャスケードブーケを作成する |
| 10 | テスト | テスト |
| 11 | トライアンギュラー | 三角形の作り方を学び、トライアンギュラー型アレンジを作成する |
| 12 | フローラルアクセサリー | ウェディングにおいてのフローラルアクセサリーの種類を学び、作成する |
| 13 | ラウンドブーケ② | ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成 |
| 14 | ブライダル装花 | グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する |
| 15 | 総合授業 | 総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルプロジェクトＩＡ | | |
| 必修選択 | 必修 | （学則表記） | ブライダルプロジェクトＩＡ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | なし | | 出版社 | | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。 |
| 到達目標 | 挙式の一連の流れを理解する。<br>各役割で連携を取り、模擬挙式を作ることが出来る。 |
| 評価基準 | 授業態度４０％・制作物４０％・振り返り２０％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 |
| 関連資格 | |
| 関連科目 | パーティプロデュース、アテンド実践Ａ |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 高橋 優衣/多田 直人　　実務経験 |
| 実務内容 | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 概要の把握 | 模擬挙式概要を把握する<br>当日までのスケジュール、各セクションについて理解する |
| 2 | 目標・テーマ<br>各セクション決定 | 目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セクションメンバーを決める |
| 3 | スケジュール・予算立て、デッサンシート作成 | チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う |
| 4 | 各セクション制作① | 各セクションごとに準備を進める |
| 5 | 各セクション制作② | 同上 |
| 6 | 各セクション制作③ | 同上 |

| | | |
|---|---|---|
| 7 | 各セクション制作④ | 同上 |
| 8 | 紙上リハーサル | 完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う |
| 9 | 挙式リハーサル① | 挙式リハーサル①を行う（各セクション、動きの確認） |
| 10 | 挙式リハーサル② | 挙式リハーサル②を行う（各セクション、動きの確認） |
| 11 | 挙式リハーサル③ | 挙式リハーサル③を行う（各セクション、動きの確認） |
| 12 | 全体リハーサル① | 全体リハーサル①を行う（受付～誘導～挙式～お見送り） |
| 13 | 全体リハーサル② | 全体リハーサル②を行う（受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り） |
| 14 | 振り返り | 模擬挙式の振り返りを記入 |
| 15 | 総まとめ | 振り返りの返却・総まとめ |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルプロジェクトＩＢ | | |
| 必修選択 | 必修 | （学則表記） | ブライダルプロジェクトＩＢ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | １年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | なし | | 出版社 | | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | ・ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける<br>・業界で求められるニーズを把握し、再現するためのコーディネート力を習得する |
| 到達目標 | ・ブライダル業界の課題に対する改善策を考え、プレゼンテーション出来る<br>・これまで学んだ技術を生かし、花嫁の全身コーディネートを創りあげる |
| 評価基準 | 校内選考企業評価５０％・グループレポート３０％・授業態度２０％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 |
| 関連資格 | |
| 関連科目 | マーケティング |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 高橋 優衣/多田 直人　　実務経験 |
| 実務内容 | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 後期行事について | ブライダルコンペティションについて概要を把握する<br>企業様によるブライダル業界についての講話を聞く |
| 2 | 成績評価について | 成績評価に加わるレポートについて把握する<br>全国コンペティションの映像を鑑賞する |
| 3 | チーム分け | チーム分けの発表<br>チームごとに内容を検討する |
| 4 | 内容検討 | チームごとに内容を検討する<br>グループレポートを記入する |
| 5 | プレゼンテーション準備 | チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める |
| 6 | プレゼンテーション準備 | チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める |

| | | |
|---|---|---|
| 7 | プレゼンテーション準備 | チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める |
| 8 | プレゼンテーション準備 | チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める |
| 9 | プレゼンテーション準備 | チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める |
| 10 | リハーサル | リハーサルを行う |
| 11 | リハーサル | リハーサルを行う |
| 12 | リハーサル | リハーサルを行う |
| 13 | 本番 | コンペティション本番<br>（授業外での開催の可能性もあり） |
| 14 | 振り返り | コンペティション振り返りを実施する |
| 15 | 総まとめ | 後期総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | 花嫁着付けＩA | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | 花嫁着付けＩA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（4）仮ひも（1)・和装スリップ（肌着)・クリップ（5 点セット)・足袋 | | 出版社 | 桜花出版<br>KW | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、<br>ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける |
| 到達目標 | 3 級きもの講師(6 月強制受験 免許免除) |
| 評価基準 | 検定試験：40％ テスト 30％ 授業態度：30％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | 一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、<br>一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格 |
| 関連科目 | 花嫁着付Ｉ-Ｂ(後期) 花嫁着付Ⅱ - Ａ・Ｂ(２年) |
| 備考 | |
| 担当教員 | 伊藤 豊美他 1 名 / 実務経験 ○ |
| 実務内容 | 結婚式着付、着付講師、成人・卒業式着付、着付ショー出演 |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 着付け授業について | 授業の流れ、授業ルールについて、教材小物の説明・記名、取得免許について、<br>考査票の記入、足袋サイズの確認 |
| 2 | 小紋の着せ方 1 | 補正について、長襦袢の着せ方、たたみ方 |
| 3 | 小紋の着せ方 2 | 小紋の着付け(裾合わせ)、着物のたたみ方 |
| 4 | 小紋の着せ方 3 | 小紋の着付け（衿合わせ） |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | 小紋の着せ方 4 | 小紋の着付け(お端折の作り方) |
| 6 | 小紋の着せ方 5 | 半幅帯について、小紋に蝶結び、小テスト(着物の名称) |
| 7 | 小紋の着せ方 6 | 小紋に蝶結び 仕上げ |
| 8 | 小紋の着せ方 7 | 小紋に蝶結び 仕上げ |
| 9 | ３級検定向上会 | 「向上会」検定試験の流れ |
| 10 | ３級検定試験 | 小紋の着付けと蝶結び(20 分)、たたみ方テスト |
| 11 | 座学 1 浴衣の着方 | 着物の名称(プリント①)、漢字の読み方(プリント②)<br>浴衣の自装、試験結果通知 |
| 12 | 浴衣の着せ方 | 浴衣の他装、半幅帯バリエーション、男性浴衣の着せ方 |
| 13 | 小紋と名古屋帯 1 | 名古屋帯について、帯のセットの仕方、お太鼓結び |
| 14 | 小紋と名古屋帯 2 | 普段着の着付け（紐使い)、小紋にお太鼓結び仕上げ |
| 15 | 総合学習 | 振袖について、前期総まとめ（小物使いと紐使い） 期末テスト |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | 花嫁着付けＩＢ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | 花嫁着付けＩＢ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（4）仮ひも（1)・和装スリップ（肌着)・クリップ（5 点セット)・足袋 | | 出版社 | 桜花出版<br>KW | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、<br>ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける |
| 到達目標 | 2 級きもの講師(12 月強制受験 免許強制) |
| 評価基準 | 検定試験：40％ テスト 30％ 授業態度：30％ |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | 一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、<br>一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格 |
| 関連科目 | 花嫁着付Ｉ-Ａ(前期) 花嫁着付Ⅱ － Ａ・Ｂ(２年) |
| 備考 | |
| 担当教員 | 伊藤 豊美他 1 名 / 実務経験 ○ |
| 実務内容 | 結婚式着付、着付講師、成人・卒業式着付、着付ショー出演 |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | 振袖の着せ方 1 | 後期授業の流れ 振袖の着付け(紐使い）準備・たたみ方 |
| 2 | 振袖の着せ方 2 | 袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方 |
| 3 | 振袖の着せ方 3 | 振袖にふくら雀 |
| 4 | 振袖の着せ方 4 | 振袖にふくら雀 仕上げ |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | 振袖の着せ方 5 | 振袖にふくら雀 仕上げ |
| 6 | 振袖の着せ方 6 | 振袖にふくら雀 仕上げ |
| 7 | 振袖の着せ方 7 | 振袖にふくら雀 仕上げ |
| 8 | ２級検定向上会 | 「向上会」検定試験の流れ |
| 9 | ２級検定試験 | 振袖にふくら雀(30 分) |
| 10 | 座学 2 | 「きものの TPO」(プリント③④)、試験結果通知 |
| 11 | 留袖の着せ方 1 | 留袖について、留袖の着付け、二重太鼓の結び方 |
| 12 | 留袖の着せ方 2 | 留袖の着付け、年齢別・体型別の着付け |
| 13 | 留袖の着せ方 3 | 留袖の着付け 仕上げ |
| 14 | 紋服の着せ方 | 紋服について 着せ方・たたみ方 |
| 15 | 総合学習 | 女袴について 着せ方・たたみ方 後期まとめ 期末テスト |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ベーシックメイク A | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ベーシックメイク A | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 電子版 BASIC<br>ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・<br>ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカラー | | 出版社 | 三幸学園 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける | | |
| 到達目標 | メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる<br>基本的なメイクを時間内に仕上げることができる | | |
| 評価基準 | 筆記テスト 30%、実技テスト 30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度 20% | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の 3 分の 2 以上あるもの成績評価が 2 以上のもの | | |
| 関連資格 | 日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定 | | |
| 関連科目 | 無 | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 伊藤亜美 他 1 名 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | 資生堂化粧品販売株式会社ビューティーカウンセラー、資生堂プロフェッショナル株式会社美容インストラクター、フリーへ転身。ヘアメイク、各種講習会、撮影、イベント | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | オリエンテーション | オリエンテーション教材のチェック<br>基本セッティング＆実践について学ぶ |
| 2 | 『骨格と表情筋』<br>クレンジングについて学ぶ | 『骨格と表情筋』顔の名称を覚える<br>手指消毒～リクレンジングまでの理論と方法を学ぶ |
| 3 | スキンケアについて学ぶ | 前回の復習<br>スキンケアの種類、方法などを学ぶ実際に相モデルで行う |
| 4 | スキンケア実技・筆記小テスト①<br>ファンデーション導入 | スキンケアの基礎知識とともにこれまでの復習を兼ねた小テストの実施<br>ファンデーションについて説明、デモンストレーション、実践 |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | アイメイクについて学ぶ① | 今まで学んだ箇の復習ファンデーションについて復習<br>アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ縦グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック） |
| 6 | アイメイクについて学ぶ② | 前回の復習<br>アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ横グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック） |
| 7 | アイブロウについて学ぶ① | 前回の復習<br>基本の眉のプロポーションについて学ぶ＆セルフ実技実践使用道具など |
| 8 | アイブロウについて学ぶ② | 前回の復習<br>アイブロウ相モデルで実践。左右対称に行い。形の違いを理解する |
| 9 | チーク・リップ<br>ハイ＆ローライトについて学ぶ | 前回の復習<br>骨格を意識したメイクを学ぶ（3 パターン行う） |
| 10 | フルメイクの練習① | 【テストに向けて】<br>タイムトライアル（45 分）<br>・時間内にメイクができるようになる。<br>・技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりなど）反復練習を行い技術力を上げる |
| 11 | フルメイクの練習② | 同上 |
| 12 | フルメイクの練習③<br>筆記小テスト② | 同上 |
| 13 | フルメイクの練習④ | 同上 |
| 14 | 実技テスト・筆記テスト<br>メイク検定ベーシックについて | タイムトライアルでフルメイクの実技テスト前期に学んだ範囲すべての筆記テスト<br>メイク検定の説明 |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ベーシックメイク B | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ベーシックメイク B | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 電子版 BASIC<br>ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・<br>ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカ | | 出版社 | 三幸学園 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける | | |
| 到達目標 | メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる<br>基本的なメイクを時間内に仕上げることができる | | |
| 評価基準 | 筆記テスト 30%、実技テスト 30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度 20% | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の 3 分の 2 以上あるもの成績評価が 2 以上のもの | | |
| 関連資格 | 日本トータルメイクアップ協会<br>ベーシックメイク検定 | | |
| 関連科目 | 無 | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 伊藤亜美 他 1 名 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | 資生堂化粧品販売株式会社ビューティーカウンセラー、資生堂プロフェッショナル株式会社美容インストラクター、フリーへ転身。ヘアメイク、各種講習会、撮影、イベント | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | メイク検定ベーシックについて<br>ソフト理論を学ぶ | オリエンテーション<br>検定について、プロポーションについてレクチャー・相モデルでポイントメイク |
| 2 | ソフトの練習 | 相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする） |
| 3 | シャープ理論を学ぶ ・小テスト | レクチャー・相モデルでポイントメイク筆記に向けて小テスト |
| 4 | シャープの練習 | 相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする） |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | ソフト OR シャープの練習① | 検定に向けて実践練習<br>タイムトライアル制限時間内にメイクをする |
| 6 | ソフト OR シャープの練習Ⓒ | 同上 |
| 7 | 実技・テスト(実技筆記対策) | 検定と同様に実技テスト<br>(スキンケア～フルメイク、筆記試験)<br>苦手克服（苦手な部分を集中して練習） |
| 8 | メイクの種類を学ぶ①<br>カラーボリュームについて | プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ |
| 9 | メイクの種類を学ぶⒸ<br>カラーボリュームについて | 色とトーン、質感、カラーボリュームバランスイメージを理解する（SWEET/ROMANTIC） |
| 10 | メイクの種類を学ぶ③シーン別メイク | イメージに合わせたメイクを理解する（FEMININE/LUXURY）シーンに合わせたメイク…和装などにあうメイク |
| 11 | メイクの種類を学ぶ④シーン別メイク | イメージに合わせたメイクを理解する（POP/NATURAL）シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク |
| 12 | メイクの種類を学ぶ⑤ケース別メイク | イメージに合わせたメイクを理解する（COOL/CRASICAL）シーンに合わせたメイク…カラードレスに<br>合わせるメイク |
| 13 | メイクの種類を学ぶ⑥ケース別メイク | メイクパターンをデッサン画にする イメージがわかるコラージュのやり方ブライダルシーンに合わせたメイク |
| 14 | モデルの顔分析似合わせ | モデルの顔分析から、相モデルにてテーマに合わせて施術 |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルネイルＩＡ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ブライダルネイルＩＡ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式、カラーポリッシュ、チップ等 | | 出版社 | 日本ネイリスト協会 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | ネイルの基礎知識と技術を身に付ける | | |
| 到達目標 | ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる<br>検定に向け時間内に仕上げることができる | | |
| 評価基準 | 前期…筆記テスト 30% 実技テスト 30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む）20%<br>授業態度 20% | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 | | |
| 関連資格 | 公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター ＪＮＥＣネイリスト技能検定３級<br>ＮＰＯ法人日本ネイリスト協会 ＪＮＡジェルネイル技能検定試験初級 | | |
| 関連科目 | 無 | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 平川 恵子 他１名 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ネイル施術、接客、出張ネイル | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | オリエンテーション<br>テーブルセッティングについて | オリエンテーション（前期の流れとゴール設定、検定について）<br>教材チェック、テーブルセッティングのやり方について学ぶ（P70～72） |
| 2 | 【座学】ネイルの歴史<br>【実技】ファイリング、カットスタイル | ネイルの歴史（P8～13）【実技】手指消毒、ファイリング、<br>５種類のカットスタイル（P76、85～91） |
| 3 | 【座学】技術体系、爪の構造と働き<br>【実技】ファイリング、クリーンナップ | 技術体系（P14～15）を学ぶ爪の構造と働き（P16～19)、【実技】ネイルケアのステップ、<br>ファイリング～クリーンナップ （P73～74、77～81） |

| | | |
|---|---|---|
| 4 | 【座学】皮膚科学<br>【実技】、クリーンナップ | 皮膚科学（P20～22）を学ぶ<br>【実技】バッフィング、クリーンナップ |
| 5 | 【座学】消毒法<br>【実技】クリーンナップ | 消毒法（P38～45）を学ぶ<br>【実技】 クリーンナップ |
| 6 | 【座学】検定対策<br>【実技】バッフィング、カラーリング | 小テスト、検定対策<br>【実技】 バッフィング、カラーリング、ポリッシュオフ （P75、82～84） |
| 7 | 【座学】皮膚科学、検定対策<br>【実技】アート | 皮膚科学（P20～22）を学ぶ、小テスト、検定対策<br>【実技】 アート（P118～134） |
| 8 | 【座学】プロフェッショナリズム～衛生基準<br>【実技】 3 級検定対策 | 【筆記・実技】 3 級検定対策 |
| 9 | 【座学】爪の病気とトラブル<br>【実技】 3 級検定対策 | 【実技テスト】検定内容で実技テストを行う（検定対策）<br>【筆記テスト】<br>ネイル検定の 3 級に合わせた内容で筆記テスト行う<br>【3 級検定対策】<br>何度も反復練習することで、施術時間の短縮と、施術のレベルアップを図る |
| 10 | 【実技】 3 級検定対策 | 同上 |
| 11 | 【筆記】 テスト<br>【実技】 3 級検定対策 | 同上 |
| 12 | 【実技】テスト | 同上 |
| 13 | 【実技】テスト（予備日） | 【座学】爪の病気とトラブル（P30～36）を学ぶ |
| 14 | 3 級検定説明 | 3 級の検定試験について、要項、ＤＶＤなどを使用して学ぶ |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルネイルＩＢ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ブライダルネイルＩＢ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式、カラーポリッシュ、チップ、ジェル道具一式、チップラップ道具一式 | | 出版社 | 日本ネイリスト協会 | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | ネイルの基礎技術・知識をマスターし、その先の応用技術を習得する |
| 到達目標 | ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる<br>検定に向け時間内に仕上げることができる |
| 評価基準 | 後期…検定結果（3 級）30% 検定結果(初級)30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む）20%<br>授業態度 20% |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | 公益財団法人日本ネイルスト検定試験センター ＪＮＥＣネイリスト技能検定<br>ＮＰＯ法人日本ネイリスト協会 ＪＮＡジェルネイル技能検定試験 |
| 関連科目 | 無 |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 平川 恵子 他 1 名 / 実務経験 ○ |
| 実務内容 | ネイル施術、接客、出張ネイル |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | オリエンテーション 3 級検定説明<br>【実技】3 級検定対策 | オリエンテーション （後期の流れやゴールを確認）検定要項を使用し、3 級検定について詳細を説明する<br>【実技】 3 級検定に向けタイムトライアル何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る |
| 2 | 【実技】3 級検定対策 | 【実技】 3 級検定に向けタイムトライアル<br>何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る<br>【筆記対策】<br>過去問や小テストを使用しながら、筆記試験の対策を行う |

| | | |
|---|---|---|
| 3 | 同上 | 同上 |
| 4 | 【座学】 ジェルネイル基礎理論<br>【実技】クリア、1 カラー、オフ | ジェル検定初級（時期、内容）について、ジェルネイル基礎理論 （テクニカルシステム ジェル P16～42）<br>【実技】プリパレーション、クリア、1 カラー、オフ （テクニカルシステム ジェル P56～60 82～83） |
| 5 | 【実技】ピーコック | 【実技】ピーコック （テクニカルシステム ジェル P96～99）<br>1 カラー～ピーコック |
| 6 | ジェル検定初級説明<br>【実技】ジェル検定初級対策 | ジェル検定初級について要項やＤＶＤを使用して学ぶ<br>【実技】 初級に向けてタイムトライアル、何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る |
| 7 | 【実技】ジェル検定初級 | 【実技】 初級に向けてタイムトライアル<br>何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る |
| 8 | 同上 | 同上 |
| 9 | 【筆記】小テスト<br>【実技】ジェル検定初級 | ジェル検定初級の筆記内容で筆記小テストを行う<br>～実技～ 初級に向けてタイムトライアル、何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る |
| 10 | 【実技】トレンドアート | 流行のトレンドアートについて学ぶ |
| 11 | 【実技】トレンドアート | 流行のトレンドアートについて学ぶ |
| 12 | 【実技】カラーリング・アート | カラーリング・アートについて学ぶ |
| 13 | 【実技】カラーリング・アート | カラーリング・アートについて学ぶ |
| 14 | 【実技】カラーリング・アート | カラーリング・アートについて学ぶ |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルヘアアレンジ I | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ブライダルヘアアレンジ I | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | 電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式<br>ホットカーラー、ヘアアイロン、ドライヤー | | 出版社 | 三幸学園 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | 応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する | | |
| 到達目標 | ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができる | | |
| 評価基準 | 実技テスト 30%<br>筆記テスト 30%<br>小テスト(筆記実技・課題提出含む)20%<br>授業態度 20% | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 | | |
| 関連資格 | 無 | | |
| 関連科目 | 無 | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 林 秀美 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ブライダルヘアメイクとして、TV 局ヘアメイク、撮影ヘアメイク、ショーヘアメイクを担当 | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | オリエンテーション<br>・ブラッシング・ブロッキング | オリエンテーション<br>教材配布と説明・ブラッシングの基本を知る・道具の名称・用途の説明 |
| 2 | 黒ゴム結び<br>・ポニーテール | ゴムの結び方を習得する<br>10 ブロック導入 |
| 3 | ポニーテール | ブロッキング・ポニーテールのテストを実施する |
| 4 | 編み込み① | 表編み込み、裏編み込みの技術を習得する、片編み、フィッシュボーン、四つ編み、丸三つ編み |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | 編み込み②<br>（小テスト） | 編み込み小テスト |
| 6 | アイロンスタイリング | アイロンの巻き方とバリエーションを学ぶ |
| 7 | ピニング① | ピニングの留め方とバリエーションを学ぶ（ハーフアップでピニングと巻きをチェック） |
| 8 | ピニング②<br>（小テスト） | 学んだ技術の小テスト（ハーフアップ） |
| 9 | ホットカーラー① | ホットカーラーの巻き方を実践する |
| 10 | ホットカーラー② | ホットカーラー反復練習を行う |
| 11 | ホットカーラー③・逆毛導入 | ホットカーラー反復練習を行う・逆毛の立て方を説明（ボリューム逆毛＋つなぎ逆毛） |
| 12 | ホットカーラー④ | ホットカーラー反復練習を行う＆スクリュー逆毛でポニーテールからのカールアップ |
| 13 | ホットカーラー⑤<br>（小テスト） | ホットカーラー全頭 20 分を実施する＆テストスタイル作成＆練習 |
| 14 | 実技テスト・筆記テスト | 前期に行った授業の全範囲で実技テストを実施する<br>前期に行った授業の全範囲で筆記テスト作成し実施する |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルメイクⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ブライダルメイクⅠ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | メイク道具一式<br>電子版BASIC/BRIDAL | | 出版社 | 三幸学園 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | ブライダルメイクの基礎としてベースメイクの質感や、ドレスやモデルに合わせて似合うメイク(色・形・バランス)を感覚的を身につけ技術を習得する | | |
| 到達目標 | ブライダルの現場で求められる考え方やセンス、メイクテクニックの応用に対応できる | | |
| 評価基準 | 実技テスト30%　筆記テスト30%　小テスト(筆記実技・課題提出含む)20%　　授業態度20% | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 | | |
| 関連資格 | 無 | | |
| 関連科目 | 無 | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 伊藤　亜美 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | 資生堂化粧品販売株式会社ビューティーカウンセラー、資生堂プロフェッショナル株式会社美容インストラクター、フリーへ転身。ヘアメイク、各種講習会、撮影、イベント | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

| 回数 | 単元 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>顔分析の基本 | オリエンテーション<br>□プロポーション・プロポーションパーツ・フェイススタイル・ベースメイクを学ぶ |
| 2 | ＦＡＣＥＳＴＹＬＥに合わせた<br>錯覚メイクや色の錯覚つけまつげの付け方 | □ベースメイク、アイブロウ、つけまつ毛のつけ方を学ぶ<br>□メイクの色遣いや形、明度、質感などの変化を学ぶ（練りハイライト、練りチークの使い方） |
| 3 | ＦＡＣＥ　ＳＴＹＬＥ①<br>（キュート） | □メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」<br>「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする |
| 4 | ＦＡＣＥ　ＳＴＹＬＥ②<br>（エレガント） | □メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」<br>「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする |
| 5 | ＦＡＣＥ　ＳＴＹＬＥ③<br>フレッシュ） | □メイクパターンよりモデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」<br>「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする |
| 6 | ＦＡＣＥ　ＳＴＹＬＥ④<br>（クール） | □メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」<br>「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする |
| 7 | モデル・似合わせメイク①<br>モデルの顔の特徴と<br>同じメイクパターン | □デッサンを描く⇒余白や特徴を覚えて理解する<br>□学んだ知識を踏まえ顔の分析ができるようになる<br>①素肌の状態から4パターンにするにはどうしたらよいかを考える<br>②相モデルで顔分析しデザインシートにどんなテクニックが必要か考える<br>③モデルの素肌状態は4パターンの内どれかを分析後、顔の長さ、パーツの位置、パーツの形、色、などこれまで学んだ技術を通じ逆パターンのイメージに仕上げる |
| 8 | モデル・似合わせメイク②<br>モデルの顔の特徴と<br>正反対のメイクパターン | |
| 9 | モデル・似合わせメイク③<br>モデルの顔の特徴と<br>ドレスに合わせたメイクパターン | |

| | | |
|---|---|---|
| 10 | 実技テスト<br>ＦＡＣＥＳＴＹＬＥ分析メイクテスト | □今まで４つのパターンより、モデルに合わせた顔の分析し、<br>デッサンとメイクをしテーマに合わせる |
| 11 | 成人式メイク | □成人式メイクを知る<br>振袖に合わせたメイク・肌の作り方・カウンセリング、提案方法を学ぶ |
| 12 | 成人式メイク | □振袖に合わせたメイクの実践 |
| 13 | 筆記、デッサンテスト | 筆記テスト+デッサンテスト |
| 14 | 実技テスト | デッサンを基に実技テスト |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルヘアアレンジⅡ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ブライダルヘアアレンジⅡ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン | | 出版社 | 三幸学園 | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | 応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する |
| 到達目標 | ヘアアレジの基礎力を反復練習でしっかりと定着させ、ヘアアレンジの応用ができる |
| 評価基準 | 実技テスト 40%<br>小テスト(筆記実技・課題提出含む)40%<br>授業態度 20% |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | 無 |
| 関連科目 | 無 |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 林 秀美　　実務経験　○ |
| 実務内容 | ブライダルヘアメイクとして、TV 局ヘアメイク、撮影ヘアメイク、ショーヘアメイクを担当 |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | オリエンテーション<br>カールアップ① | カールスタイルのアレンジ・構成を学ぶ<br>※サイドアップ含む |
| 2 | カールアップ② | 同上 |
| 3 | カールアップ（小テスト） | 巻きを含めずカールスタイルのテスト |
| 4 | カールアップ① | 逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ<br>※ベーシックなトップカールアップ or リーゼント（ウィッグ） |
| 5 | カールアップ② | 巻きを含めずカールスタイルのテスト |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 重ね夜会巻き① | 夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ |
| 7 | 重ね夜会巻き② | 夜会巻きにおけるピニングの留め方とバリエーションを学ぶ |
| 8 | 本夜会巻き① | 本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ |
| 9 | 本夜会巻き② | 本夜会巻きのスタイルをウィッグで練習 |
| 10 | 実技テスト | 重ね夜会か本夜会のどちらかでテストを行う |
| 11 | 相モデル | 今まで学んだスタイル（カールスタイル・面スタイル）を相モデルで実践① |
| 12 | 相モデル | 今まで学んだスタイル（カールスタイル・面スタイル）を相モデルで実践② |
| 13 | 相モデル | 今まで学んだスタイル（カールスタイル・面スタイル）を相モデルで実践③ |
| 14 | 相モデル | 今まで学んだスタイル（カールスタイル・面スタイル）を相モデルで実践④ |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルヘアメイクⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ブライダルヘアメイクⅠ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | 電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式、ホットカーラー<br>ヘアアイロン、電子版 BASIC | | 出版社 | 三幸学園 | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | ヘアアレンジの基礎的な技術を習得する | | |
| 到達目標 | ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができるようになる<br>基礎的な技術を身に付け、繰り返すことで基礎を固め応用力にいかすことができる | | |
| 評価基準 | 実技テスト 30%<br>小テスト（筆記実技・課題提出含む） 3 0%<br>授業態度 4 0% | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>・成績評価が 2 以上の者 | | |
| 関連資格 | 無 | | |
| 関連科目 | 無 | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 佐久間 一栄 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ブライダルヘアメイク、ブライダルドレス＆アクセサリーデザイナー兼プロデューサー、バイヤー、ブライダル業務全般（スタイリング） | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|---|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | オリエンテーション<br>カールアップ① | オリエンテーション<br>後期カールスタイルのアレンジ（前期のスタイル復習）逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ※サイドアップ含む |
| 2 | カールアップ① | 後期カールスタイルのアレンジ<br>逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ<br>※カールアップスタイル（スタイルは各校判断） |
| 3 | カールアップ② | 同上 |
| 4 | カールアップ（小テスト） | カールアップスタイルのテスト |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | ヘアメイク<br>プロポーション① | ～ベーシックメイクテキスト使用～<br>ヘアメイクの顔の基準を知り<br>メイクのトータル的な技術を学ぶ<br>メイクの質感などを知る<br>似合わせメイク等 |
| 6 | ヘアメイク<br>プロポーション② | 同上 |
| 7 | ヘアメイク<br>プロポーション③筆記テスト | メイクの質感などを知る<br>似合わせメイク等 |
| 8 | 夜会巻き<br>～重ね夜会①～ | 夜会巻き（重ね夜会）のスタイル構成と面の出し方を学ぶ |
| 9 | 夜会巻き<br>～重ね夜会②～ | 同上 |
| 10 | 夜会巻き<br>～重ね夜会③～ | 同上 |
| 11 | 夜会巻き<br>～本夜会①～ | 夜会巻き（本夜会）のスタイルを展開図からしっかり学ぶ |
| 12 | 夜会巻き<br>～本夜会②～ | 同上 |
| 13 | 重ね夜会・本夜会の夜会巻きのどちらかを選択しテストに向け復習・練習 | テストで実施するスタイルの復習・練習 |
| 14 | テスト | 重ね夜会巻き又は本夜会巻き　どちらかを選択しテスト |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 実技 | 科目名 | ドレスフィッティング | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ドレスフィッティング | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | The Business of Wedding Attire & Styling | | 出版社 | 全米ブライダルコンサルタント協会<br>（ABC協会）日本オフィス | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | ドレスデザインA・Bで学んだフィッティング技術を実践し、即戦力を身に付ける | | |
| 到達目標 | ドレスショップでの接客、衣装の補正方法を理解しフィッティング時の基本的な対応が出来る<br>また、時間内での接客応対、コーディネートの提案が出来る | | |
| 評価基準 | テスト５０％・実技３０％・授業態度２０％ | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 | | |
| 関連資格 | 無 | | |
| 関連科目 | ドレスデザインＡB、ソーイング＆メンテナンスⅠ | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | |
| 担当教員 | 野口　綾伽 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ドレスショップにてスタイリストとして勤務。スタイリスト業務、雑誌撮影や国内外にてバイイングを担当 | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

| 回数 | 単元 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 自己紹介・ドレス室マナー | ドレス室の使用方法、衣装(ドレス・タキシード)扱い方・パニエ・ベールのたたみ方・ハンガーの種類等の説明 |
| 2 | ブライダルインナーについて | ブライダルインナーの必要性を知る、種類と対応方法<br>インナーの着用方法 |
| 3 | ドレスの採寸実習 | 採寸実習 |
| 4 | 新婦の洋装フィッティング①<br>ブライダルインナーの着せ付け | ドレス選択からフィッティング実習<br>インナーの着せ付け方法を実践する |
| 5 | 新婦の洋装フィッティング② | ドレス選択からフィッティング実習 |
| 6 | 新婦の洋装フィッティング③ | ドレス選択からフィッティング実習 |

| | | |
|---|---|---|
| 7 | 新郎の洋装フィッティング<br>列席者衣装フィッティング | 新郎の洋装(タキシード)補正技術<br>列席者衣装（モーニングコート)フィッティング |
| 8 | カウンセリング基本 | カウンセリングシートを用いて基本的な聞き取り方法<br>ペアでカウンセリングのみロールプレイング |
| 9 | プレゼン基本 | プレゼンテーションのポイント<br>カウンセリングした内容からドレスを１着選び、どのように提案していくかプレゼン内容をノートにまとめさせる |
| 10 | 洋装フィッティング① | 先週まとめたものをフィッティングしながら実践 |
| 11 | 洋装フィッティング② | 全員の前でフィッティング＋プレゼンの実践（１人７分程度、時間配分は人数による） |
| 12 | 洋装フィッティング③ | 全員の前でフィッティング＋プレゼンの実践（１人７分程度、時間配分は人数による） |
| 13 | 私服コーディネート | 私服で採用試験に臨むケースが増えてきている為、各自私服のコーディネートと<br>その内容をプレゼンする |
| 14 | 後期試験 | 補正の試験 |
| 15 | 総まとめ | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 実技 | 科目名 | ドレスソーイング＆メンテナンスⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | ドレスソーイング＆メンテナンスⅠ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | The Business of Wedding Attire & Styling | | 出版社 | 全米ブライダルコンサルタント協会<br>（ABC協会）日本オフィス | |

| 科目の基礎情報② | | | |
|---|---|---|---|
| 授業のねらい | ドレススタイリストの仕事の一環である、素材に合わせた、シミ抜き・補正(裁縫)・裾上げ・アイロン掛け等のメンテナンス業務を学ぶ | | |
| 到達目標 | 生地の種類やドレスのタイプによるメンテナンス方法や裁縫技術を習得する | | |
| 評価基準 | テスト５０％・作成物３０％・授業態度(提出物含む)２０％ | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の３分の２以上ある者<br>・成績評価が２以上の者 | | |
| 関連資格 | | | |
| 関連科目 | ドレスデザインＡ・ドレスデザインB・ドレスフィッティング | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | |
| 担当教員 | 添田　由紀 | 実務経験 | ○ |
| 実務内容 | ドレスコーディネーター、オーダードレスサロン経営（デザイン、縫製、販売、レンタル） | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

**各回の展開**

| 回数 | 単元 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | ドレスの素材の知識 | ドレスの素材と取り扱いについて |
| 2 | アイロン実習 | 手アイロン、スチームアイロン説明、実習 |
| 3 | 縫製の知識と製縫実習① | 縫製の知識　流しまつり　返し縫い　練習 |
| 4 | 縫製の知識と製縫実習② | 縫製の知識　流しまつり　返し縫い　練習 |
| 5 | 縫製の知識と製縫実習③ | 縫製の知識　奥まつり縫い　コの字縫い　練習 |
| 6 | 縫製の知識と製縫実習④ | 千鳥がけ　ループ　スパンコール |

| | | |
|---|---|---|
| 7 | 縫製の知識と製縫実習⑤ | ボタン　スナップ　ホック |
| 8 | 縫製の知識と製縫実習⑥ | ミシンの扱い方 |
| 9 | リングピロー作成① | デザイン製図 |
| 10 | リングピロー作成② | デザイン製図　生地縫断　縫製　装飾 |
| 11 | リングピロー作成③ | デザイン製図　生地縫断　縫製　装飾 |
| 12 | しみ抜き実習 | 汚れの知識とシミ抜き方法口紅、ファンデーションの汚れを取る |
| 13 | 和装(着物)の素材の知識 | 着物の素材、加飾技法、取り扱いについて |
| 14 | 後期試験 | 筆記試験・実技試験 |
| 15 | 総まとめ | 総まとめを行う |

# シラバス

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業形態 | 実習 | 科目名 | インターンシップⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | （学則表記） | インターンシップⅠ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1 年 | 学科 | ブライダルヘアメイク＆ドレス科 | 2 | 60 |
| 使用教材 | なし | | 出版社 | | |

| 科目の基礎情報② | |
|---|---|
| 授業のねらい | ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける |
| 到達目標 | 社会人として必要な基礎スキルが身に付いている<br>相手の立場に立った物の考え方ができる<br>社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる |
| 評価基準 | 企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート） |
| 認定条件 | 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者<br>成績評価が 2 以上の者 |
| 関連資格 | なし |
| 関連科目 | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する |
| 担当教員 | 高橋 優衣 |
| 実務経験 | |
| 実務内容 | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります